

交通教育専門員 赤井さん委嘱状交付式



↑遠藤町長から委嘱状を手渡される赤井一夫さん

震災と原発事故後、初めてとなる交通教育専門員の委嘱状交付式が4月5日、広野町で行われ、遠藤町長から制服姿の赤井さんに委嘱状が手渡されました。

赤井さんは公設商業施設「ひろのてらす」前の国道6号交差点に立って通学する児童や生徒を見守り、交通安全・事故防止活動に力をそそぎます。

広野町消防団第3分団屯所開所式



↑新たな第3分団屯所

4月14日、広野町消防団第3分団屯所開所式が広野駅東側開発地区で行われ、東日本大震災の津波で全壊した第3分団屯所が新たに建設されたものがお披露目されました。

開所式では遠藤町長、伊藤双葉警察署地域交通課長、渡邊双葉地方広域市町村圏組合消防本部次長、黒田議会議員が祝辞を述べ、矢内広野町消防団長が感謝の言葉を述べました。

行政区長会議を開催



↑行政区長会議の様子

4月27日、広野町公民館で行政区長会議を開催しました。会議では平成29年度の町の重点事業説明会が行われたほか、区長からは、集会所やごみステーションの管理などについて質問や要望があり、これに対して遠藤町長や担当課長がそれぞれ回答しました。

行政区長会議終了後、社会福祉協議会評議員委嘱状交付式を行いました。

保健協力員・母子推進員に 委嘱状を交付



↑委嘱状交付の様子

4月25日、震災以降活動を停止していた広野町保健協力員・母子推進員への委嘱状交付式を広野町保健センターで実施し、10人に委嘱状を交付しました。

保健協力員・母子推進員は、町が実施する保健事業の目標を達成するため、保健師の強力なパートナーとして、成人・高齢者に対する保健事業の補助や将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、母子保健事業補助を展開していきます。

任期は平成29年4月1日から平成31年3月31日までの2年間です。

沼津学園飛龍高校生徒が 広野駅東側に河津桜を植樹



↑植樹後の遠藤町長と沼津学園飛龍高校生徒たち

4月25日、静岡県にある学校法人沼津学園の飛龍高校3学年生徒37人が広野駅東側開発地区を訪れ、水路の両脇およそ200mにわたり43本の河津桜を植樹しました。

当日は非常に風の強い日でしたが、参加者は約1時間半かけて懸命に植樹し、達成感を味わいながら記念撮影を行いました。

今後も沼津学園において、河津桜を植樹し続けていきたいとのことでした。

春の交通安全運動にともなう出動式



↑出動式の様子

4月6日、春の全国交通安全運動（4月6日から15日までの10日間）の出動式が富岡町の双葉署で行われ、富岡町の双葉署本署での出動式は震災後7年ぶりのことで、管内町村の関係者ら約150人が参加し、交通安全の誓いを新たにしました。

広野町二ツ沼総合公園パークゴルフ場 NPGA公認後来場者20万人達成



↑振興公社社長から広野産コシヒカリを受ける山田一也さん

広野町二ツ沼総合公園パークゴルフ場の来場者数が3月25日、NPGA公認コースとなってから累計20万人に達成しました。

20万人目の来場者となったのは、いわき市在住の会社員、山田一也さん。山田さんは「来てびっくり。このコースは起伏に富んでいて、難しいが楽しいので月に1～2回来ている。」と喜びを語ってくれました。

山田さんには、当公園を管理運営する㈱広野町振興公社から、広野産コシヒカリ10kgの他、パークゴルフ用グッズ3点が贈られました。

あぶくま信用金庫から 防災備蓄用食料等贈呈



↑太田福裕理事長から目録を受ける遠藤町長

4月5日、あぶくま信用金庫が広野町に非常用備蓄用の自然水100ケースと非常用フリーズドライご飯500食を寄贈しました。

あぶくま信用金庫は東日本大震災の教訓を活かし、防災備蓄用の食料などを被災市町村に贈っており、太田福裕理事長が寄贈した水やご飯について説明し、遠藤町長に目録を手渡しました。